

ヒートポンプ事業

～宮地電機に頼んで良かった!～

電材住建営業部高知支店長 野本雅文

ヒートポンプ事業とは、施設園芸農家のハウス加温において、燃油価格の影響を受けにくい経営構造への転換を図るため、産地ぐるみ（高知県の場合はJA単位）で省エネ化を推進する事業です。一般的にはヒートポンプ式エアコンを導入し、既存の重油焚きボイラーとのハイブリッド運転を行います。これにより従来と比較して、大幅なランニングコストの削減が見込まれます。また、インシヤルコストは補助金とリースの活用により、毎月の出費を低額かつ安定化できるメリットがあります。

当社では、稲津主任が2008（平成20）年から取り組みを開始しました。2013年度に国が「施設園芸省エネ設備リース導入支援事業」として、全国で3年計画425億3,000万円を予算化したことを機に、一気に導入が進みました。その頃には当社の地道な活動が実り、「ヒートポンプなら宮地電機」という認識がJAや農家様に浸透しており、初年度は4軒だった農家様の数を、2014年度には133軒と大きく躍進させることができました。現在では高知支店の事業の柱として大きな成果を上げています。



事業の流れは、まず補助金の情報を正しく理解するため、当社は高知県主催の説明会に参加します。その後、各JA単位で農家様にお集まりいただき当社主催の説明会を実施します。

続いて公募が開始されると、ビニールハウスの現地調査と農家様への商品およびリース事業の説明を行い、農家様ごとに見積書・リース料金・重油削減率試算表・重油と電気のランニングコスト比較表・機器配置図の提案など、細かい打ち合わせを重ねてゆきます。

さまざまな情報が揃ったら、いよいよ補助金申請（実施計画書）の作成開始です。過去7年間の重油供給証明・重油削減率試算表・見積書・現地地図3種類・農業振興地域地図・ハウス耐用年数証明書・各設置場所施工前写真・機器配置図・既設加温器仕様書・申請機器仕様書・申請機器カタログのコピーなど、膨大な資料を準備します。

提出して結果を待ち、採択となれば施工・引き渡し、最後に事業完了届を提出して終了です。

もちろん1軒ごとにハウスの仕様や作物が違うので、同じ内容の申請書は1件もありません。農家様と打ち合わせの際、ビニールハウスの仕様や作物についての知識、ヒートポンプの知識がないと適切な機器選定ができず、重油削減目標の決定に至る数値確認など、打ち合わせ担当者は高度な専門的知識が必要となります。



ありがたいことに農家様からは、「重油代が劇的に減った」「今年は〇〇円得した!」という声を多く聞くことができます。他にも、「宮地電機に頼んだら何もなくてもコスト削減してくれる」「関係諸氏と打ち合わせをして申請書作成してくれるのは大変ありがたい」との嬉しい声をいただいています。そのようなことがあってか、複数のハウスを持っている方は、年度ごとに続けて設置していただいている状況です。

あるJAでは「他社で申請すると手間がかかるが、宮地電機に頼むとしっかりと申請してくれる。できるだけ農家様へ宮地電機を紹介するように」と指示がでている拠点もあるそうです。このような信頼関係を築けたことは誇らしいことです。

2015年度も引き続き申請を行っています。また、2016年度からは新たに3年計画での取り組みがされる模様です。その年度ごとに条件も違いますので、柔軟性を持った対応力が求められそうです。

【2008～2014年度の実績表】

事業名	農家数(軒)	ハウス数(棟)	室外機台数(台)	当社受注額(千円)
平成20年度施設園芸省エネルギー技術緊急導入推進事業	4	4	11	7,812
平成21年度園芸産地再生施設緊急リース事業	1	2	4	3,360
平成22年度生産環境総合対策事業 (農業生産地球温暖化対策事業のうち施設園芸省エネルギー設備リース支援事業)	12	34	140	138,480
平成23年度農畜産業機械等リース支援事業(施設園芸省エネ設備導入型)	32	37	179	172,782
平成24年度農畜産業機械等リース支援事業(施設園芸省エネ設備導入型)	40	68	301	306,993
平成25事業年度施設園芸省エネ設備リース導入支援事業	95	124	549	470,733
平成26事業年度施設園芸省エネ設備リース導入支援事業	133	214	803	729,781